

第 67 回中部日本都市対抗軟式野球大会実施要項

1. 主 催 公益財団法人全日本軟式野球連盟・中日新聞社
2. 主 管 全日本軟式野球連盟愛知県支部（愛知県軟式野球連盟・愛知県軟式野球連盟西三河連合会）
3. 後 援 愛知県・(公財)愛知県スポーツ協会・碧南市・碧南市教育委員会・碧南市スポーツ協会・刈谷市・刈谷市教育委員会
刈谷市スポーツ協会
4. 会 期 令和 4 年 1 1 月 4 日（金）～1 1 月 7 日（月） 4 日間
5. 会 場 （A）碧南市臨海公園グラウンド 〒447-0853 碧南市浜町 2 番地 4 TEL0566-46-1189
（B）刈谷市刈谷球場 〒448-0833 刈谷市城町 1 丁目 49 番地 TEL0566-27-5500
6. 出 場 チ ー ム 出場チームは、都市代表チームであり、次の地区から 1 チームと前年度優勝チームの計 1 3 チームであること。
（1）第 66 回優勝チーム（2）岐阜県代表（3）三重県代表（4）静岡県代表（5）長野県代表（6）新潟県代表
（7）富山県代表（8）石川県代表（9）福井県代表（10）滋賀県代表（11）愛知県東部代表（12）愛知県西部代表
（13）開催都市代表
7. 出 場 資 格 本大会に出場するチームは下記による。
（1）公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されたチームであること。
（2）公益財団法人全日本軟式野球連盟規程第 6 条 2 項の一般チームであること。
（3）代表する県の軟式野球連盟に登録された選手であること。
（4）1 チームのメンバーは監督を含めて 10 名以上 20 名以内であること。
8. 適 用 規 則 2022 年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
9. 大 会 規 律 不正出場、その他規律違反に対しては、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
10. 使 用 球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球（M 号）を使用する。
11. 参 加 申 込 出場資格を得たチームは、公益財団法人全日本軟式野球連盟 H P より参加申込書をダウンロードして、申込書を正確に作成し、
所属県支部へ令和 4 年 1 0 月 4 日（火）までに提出すること。
各支部は提出された参加申込書を令和 4 年 1 0 月 4 日（火）までに E-Mail にて公益財団法人全日本軟式野球連盟へ送付すること。
①出場チームは別紙「参加申込書作成について」を参照のこと。
②大会参加申込書は、そのまま写真製版でプログラムに掲載するのでパソコン（エクセル）で正確に入力すること。
③監督・主将、以下その他の選手は背番号の若い順に記入すること。
④組合せ抽選、プログラム作成、宿舍割当等の関係上申込期日を厳守のこと。
12. 組 合 せ 抽 選 抽選は、愛知県軟式野球連盟役員立会いの上、下記により代理抽選を行う。
（1）日 時 令和 4 年 1 0 月 6 日（木） 1 4 時 3 0 分
（2）会 場 中日新聞社 名古屋市中区三の丸一丁目 6 番 1 号
13. 監 督 会 議 下記により監督会議を行うので、出場チームの監督または主将は、必ずユニフォームを着用し「2022 年度版競技者必携」及び
「2022 年度公認野球規則」を持参の上出席すること。出席しない場合は原則として棄権とみなす。
（1）日 時 令和 4 年 1 1 月 4 日（金） 1 4 時 3 0 分
（2）会 場 碧南市臨海体育館（碧南市浜町 2 番地 3 TEL0566-48-5311）
14. 開 会 式 （1）日 時 令和 4 年 1 1 月 4 日（金） 1 6 時 0 0 分
（2）会 場 碧南市臨海公園グラウンド
（雨天時、碧南市臨海体育館で行うので、運動靴（室内履き）を持参のこと）
※開会式には、参加届けに記載されている全選手の参加が望ましいが、勤務の都合等で参加できなくても試合には出場できる。
ただし、10 名以上でなければならない。
15. 表 彰 第 1 位 表彰状・優勝旗（持ち回り）・優勝楯・優勝メダル・賞品
第 2 位 表彰状・準優勝旗（持ち回り）・準優勝盾・準優勝メダル・賞品
16. 参 加 記 念 品 参加したチームに対し記念品を贈る。
17. 参 加 料 1 チーム 3 0, 0 0 0 円（監督会議の際に納入のこと）
※新型コロナウイルス感染症の拡大により、監督会議を中止とした場合の参加料の徴収方法は、別途案内する。
※参加申込締切後に、新型コロナウイルス感染症を理由に出場辞退の場合、参加料は徴収する。なお、辞退によるペナルティは課さない。
18. 宿 泊 の 幹 旋 宿泊は大会実行委員会において割り当てし通知する。
（1）出場チームは、所定の申込書に幹旋の要否を記入し、下記の大会実行委員会に申し込むこと。
（2）宿泊申込締切後の宿泊を取り消した場合は、当該チームにおいて違約の責任を負うものとする。
（3）宿泊料は、1 泊 2 食付 1 0, 0 0 0 円以内（税金・サービス料別途）に協定する。
19. 旅 費 宿 泊 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、全てチーム負担とする。
20. そ の 他 （1）新型コロナウイルス感染症の拡大により、監督会議および開会式を中止する場合がある。
（2）出場チームは必ず背番号(0 番から 99 番まで、監督 30 番・主将 10 番・コーチ 29 番・28 番)および左袖に都道府県名
をつけること。（都市名は不可）
（3）本大会の優勝旗は第 66 回優勝チーム（支部）が責任を持って必ず持参すること。
（4）出場チームは「各県の中部日本都市対抗大会の優勝旗」を持参すること。
（5）木製バット以外は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認バットであること。
（6）捕手は公認マスク、レガーズ、捕手用ヘルメット、プロテクターを着用のこと。
（7）試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを装着すること。
（8）打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。
（9）参加選手は健康保険証又は共済組合員証、その他これに準ずるものを必ず持参すること。
（10）得点差によるコールドゲームを採用する。（7 回以降 7 点差）
（11）延長戦ならびにタイブレーク方式の採用について。
9 回を完了して、同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。
①延長戦の回数は、最長 12 回（最長 3 回）までとする。
②試合開始後、3 時間を経過した場合は、新しい延長イニングに入らない。
③前記①または②を終了しても同点のときは、タイブレーク方式を行う。
（12）本大会は日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。
（13）試合中の負傷については、応急処置は行うが以後の責任は負わない。
（14）大会会場において、競技者および大会関係者は受動喫煙防止に努め、喫煙可能区域以外での喫煙を厳禁とする。
（15）全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令された場合、競技者は大会運営者ならびに審判員の指示に従うこと。
（16）競技者は、大会本部が実施する新型コロナウイルス感染予防対策に協力し、各チーム内でも感染予防対策を行うこと。
（17）本大会についての問い合わせ先：第 67 回中部日本都市対抗軟式野球大会実行委員会（愛知県軟式野球連盟）
〒460-0003 名古屋市中区錦 3 丁目 15 番 31 号 モリヤス錦ビル 7F 東（TEL052-971-7489 / FAX052-951-4884）